

2021年11月期 決算説明会

2022年2月7日

株式会社ノダ

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

本日のご説明内容

2

- **グループの状況** P 3
- **連結業績概況 2021年11月期** P 9
- **連結業績予想 2022年11月期** P24
- **配当予想、他** P37

グループの状況

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

グループの出資状況

【連結決算対象会社の状況】

《連結子会社》 ※出資比率：石巻合板工業(株)は80%、それ以外は100%

アドン(株)

(株)ナフィックス

スラインダー社 (インドネシア)

石巻合板工業(株)

*アイピーエムサービス(株)

*アイピーエムサービス(株)は石巻合板工業(株)の100%子会社

《持分法適用関連会社》 ※出資比率：49%

サンヤン社 (マレーシア)

【上記以外の状況】

《非連結子会社》 ※出資比率：100%

(株)巴川製作所

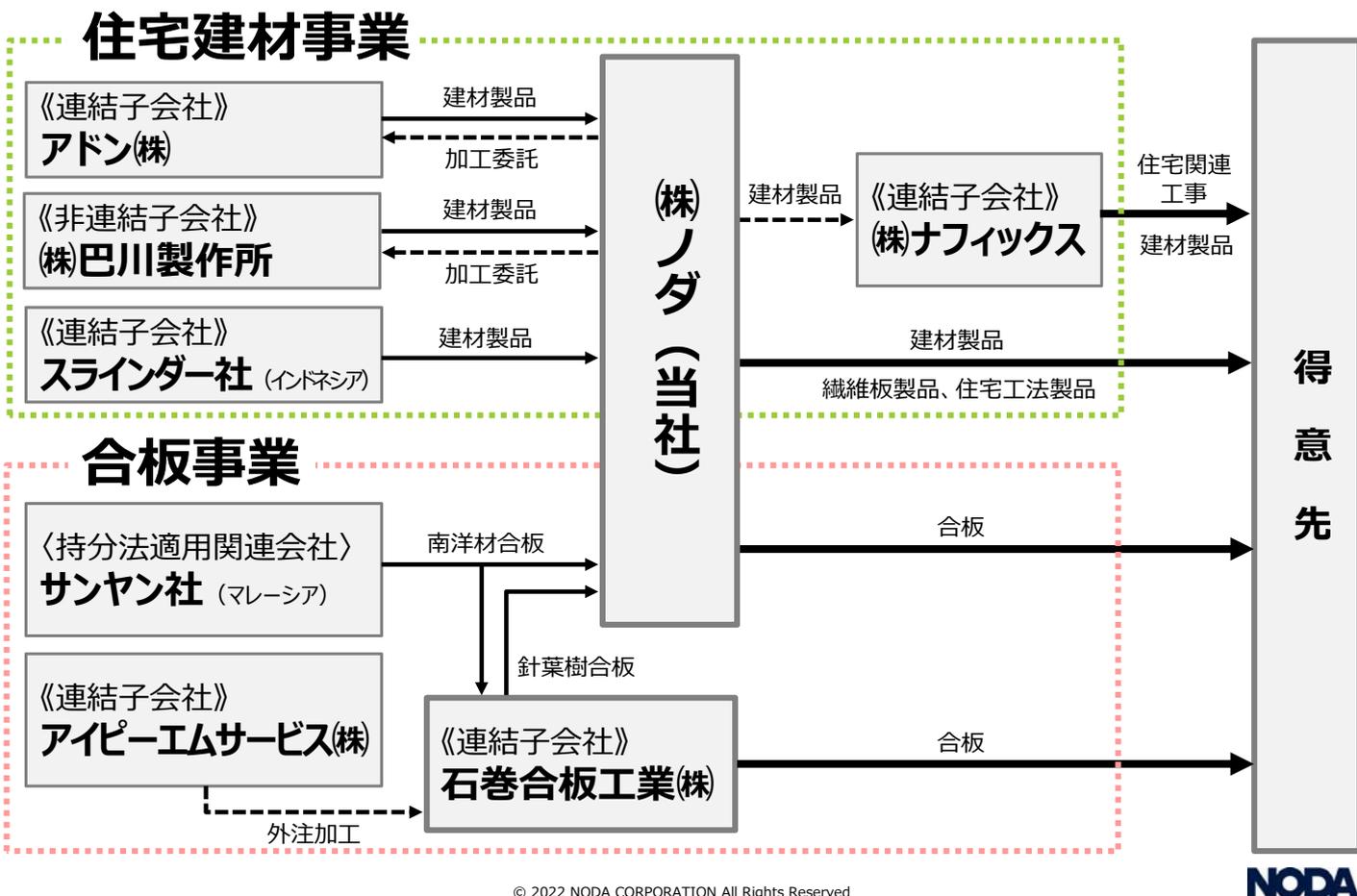
《資本提携》 ※出資比率：7.4% (ノダ3.7%、石巻合板工業3.7%)

IFI社 (インドネシア)

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

グループの事業系統図



グループの事業分野（住宅建材事業）



国産針葉樹合板

構造用ヒノキハイブリッド



構造用針葉樹合板



(生産拠点)

株ノダ 富士川工場
(静岡県富士市)



石巻合板工業株
(宮城県石巻市)



サンヤン社
(マレーシア)



オールヒノキ（無節）



単板積層材（LVL）



ラワン構造用合板



塗装型枠用合板



輸入南洋材合板

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

グループの拠点概要

(2021年11月末現在)

営業拠点
49ヶ所

生産拠点
7ヶ所

ショールーム
7ヶ所

国内 4ヶ所
海外 3ヶ所
※資本提携先を含む



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績概況

2021年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績ハイライト（総括）

10

増収増益

（金額単位：百万円）

	前期実績	当期実績	前期比
売上高	62,284	64,586	+2,302 (+3.7%)
営業利益	2,788	3,829	+1,041 (+37.4%)
経常利益	2,912	4,243	+1,330 (+45.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,691	2,535	+843 (+49.9%)

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

ウッドショックによる国内への影響

● 新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに…

- ・ 世界的なコンテナ不足により海上輸送が遅延
- ・ 米国で在宅勤務の普及により戸建住宅ブームが発生

世界的に木材需給が逼迫し、価格高騰

● 日本国内への影響(2021年春先より顕在化)

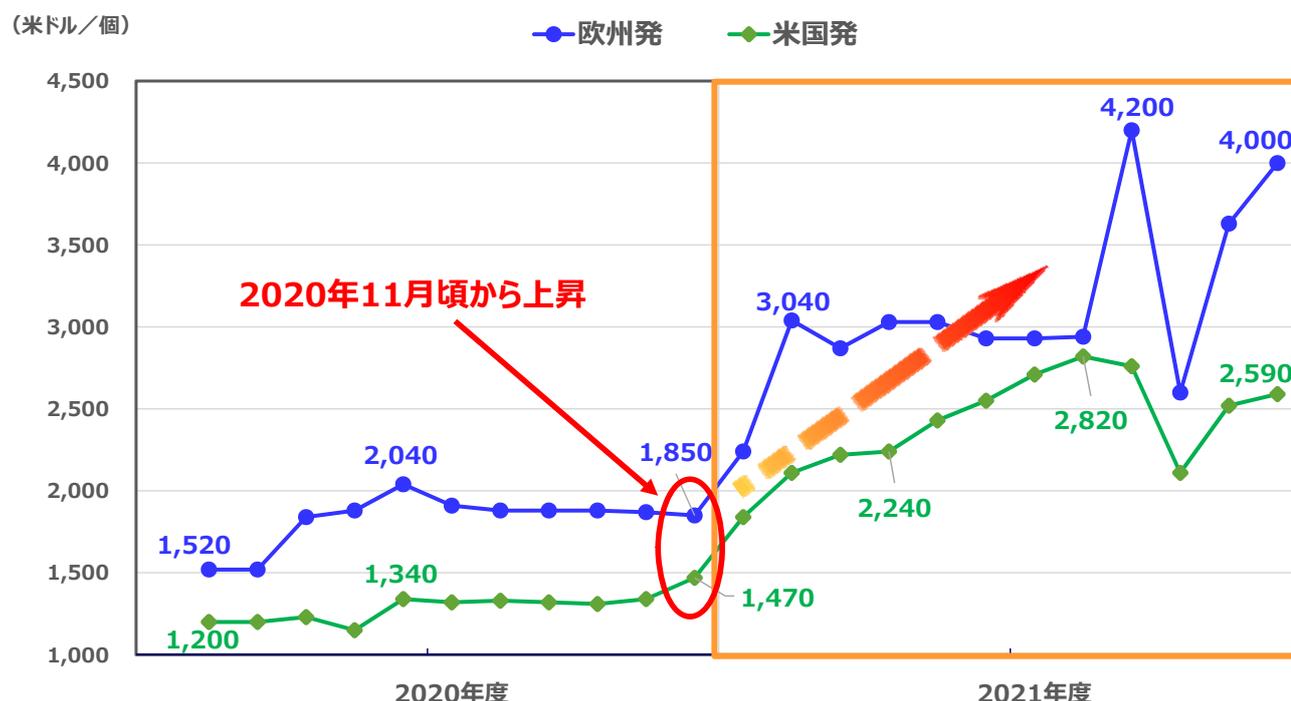
- ・ 輸入木材の供給量が減少し、価格高騰
- ・ 代替需要が発生し、国産木材も価格高騰
- ・ 夏以降、原木高に加えて住宅需要回復の影響もあり、品薄感から合板の価格も高騰

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

日本向けコンテナ運賃 推移

コンテナ不足による海上輸送の遅れから、コンテナ運賃は急激に上昇



資料) 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃同行」

※「欧州発」はRotterdam発 横浜着、「米国発」はLosAngeles発 横浜着、いずれも40ftコンテナ

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

住宅建材事業

2021年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績のポイント（売上高）

14

(百万円)



住宅建材事業〈要因〉

前期比 +1,563 百万円
(+4.0%)

- 新設住宅着工の回復
- 販売量の増加
 - ✓ フロア、構造用HBW(耐力面材)、素材MDF(IFI社製)
- 販売価格の改定(下期)
 - ✓ 合板基材フロア
 - ✓ ラスカット(内装外装下地材)

2020年11月期

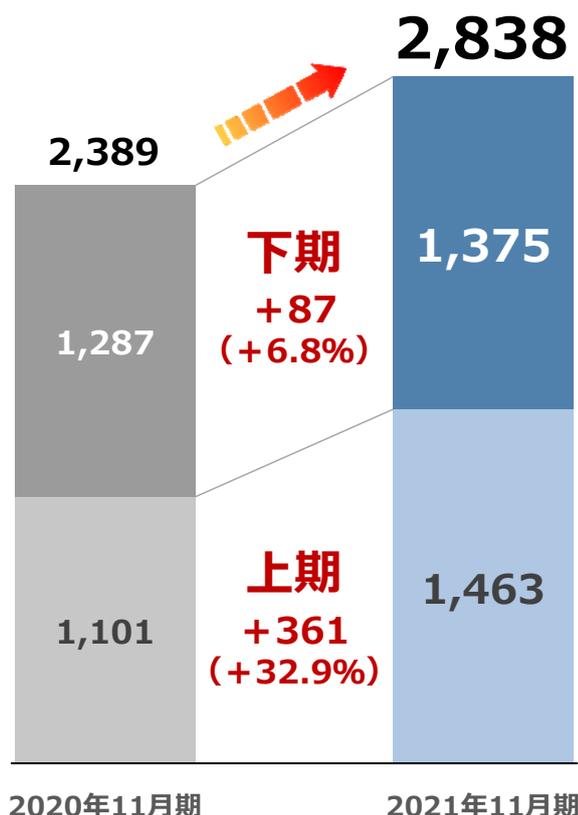
2021年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績のポイント（セグメント利益）

(百万円)



住宅建材事業〈要因〉

前期比 +449 百万円
(+18.8%)

- 販売量の増加
- 販売価格の改定(下期)
 - ✓ 原材料・副資材価格の高騰をある程度吸収
- 製造コストダウン
- 販促費の抑制
 - ✓ コロナで展示会等が中止

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

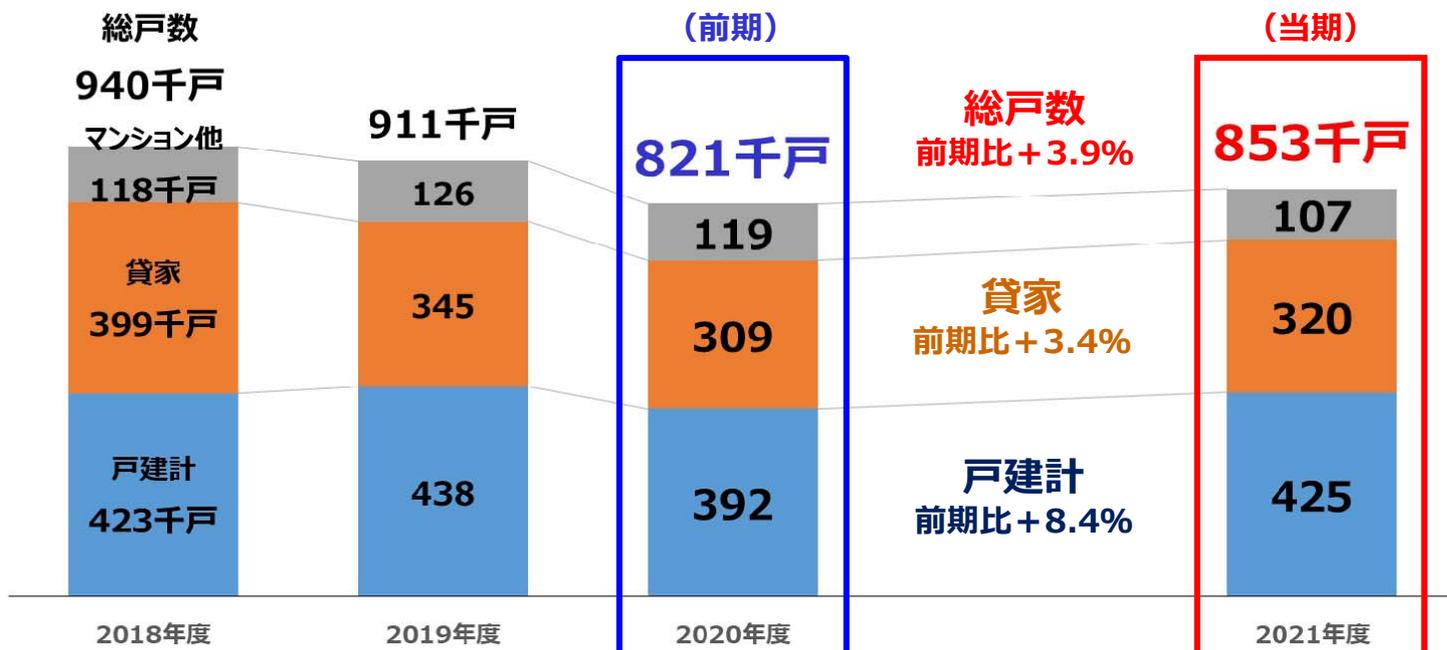
NODA

新設住宅着工戸数の状況（12月～11月）

- 総戸数は前期比+3.9%
(内訳：持家+9.6%、貸家+3.4%、分譲一戸建+5.9%)
- 当社グループの販売に関係深い「持家+分譲一戸建」は同+8.4%

※戸数は単位未満切り捨て

※各年度の期間は、12月～11月の12ヶ月間を示す

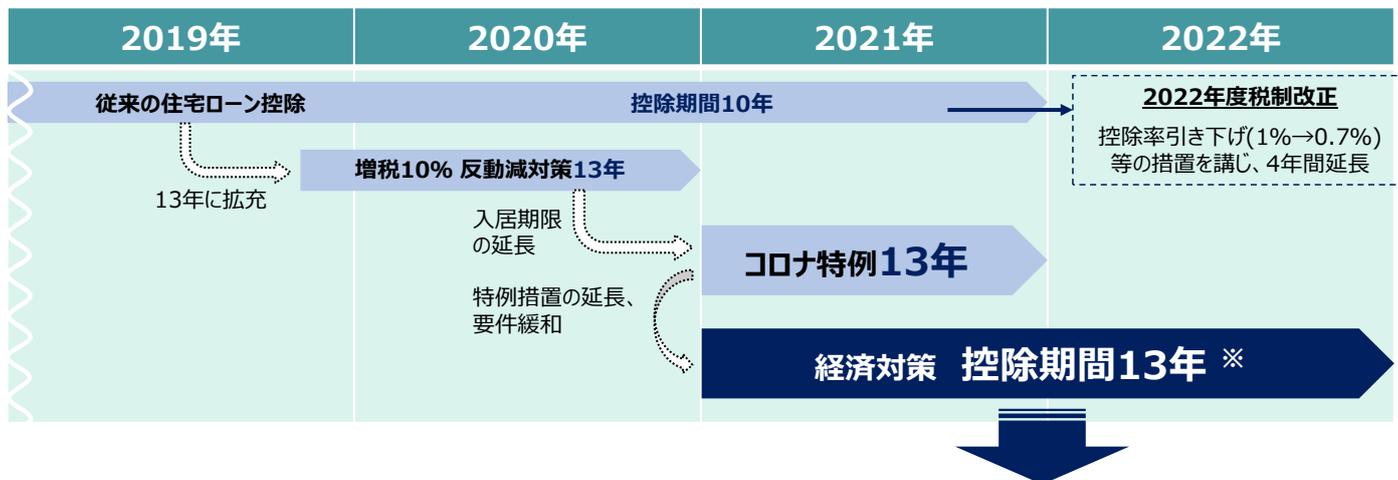


資料) 国土交通省「住宅着工統計」

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

住宅ローン減税適用の契約期限が2021年の秋に到来
⇒期限前に駆け込み需要が発生



契約期限は以下のとおり、すでに受付終了

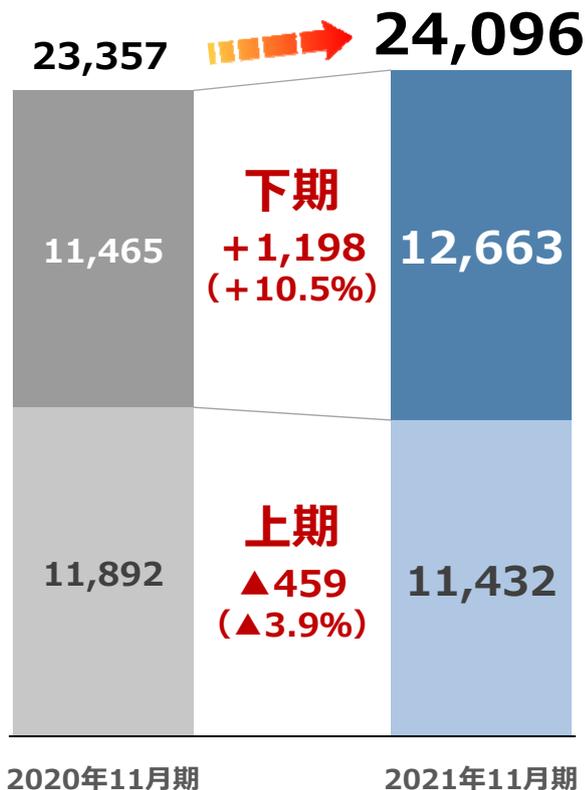
- 注文住宅：2021年9月末
 - 分譲住宅、既存住宅、増改築等：2021年11月末
- ※いずれも2022年12月末までの入居が条件

合板事業

2021年11月期

連結業績のポイント（売上高）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前期比 +738 百万円
(+3.2%)

・販売価格の上昇(価格転嫁)

- ✓ 国産針葉樹合板：
下期、住宅需要の回復が顕著となり需給が逼迫
- ✓ 輸入南洋材合板：
期を通じて供給量低迷

2020年11月期

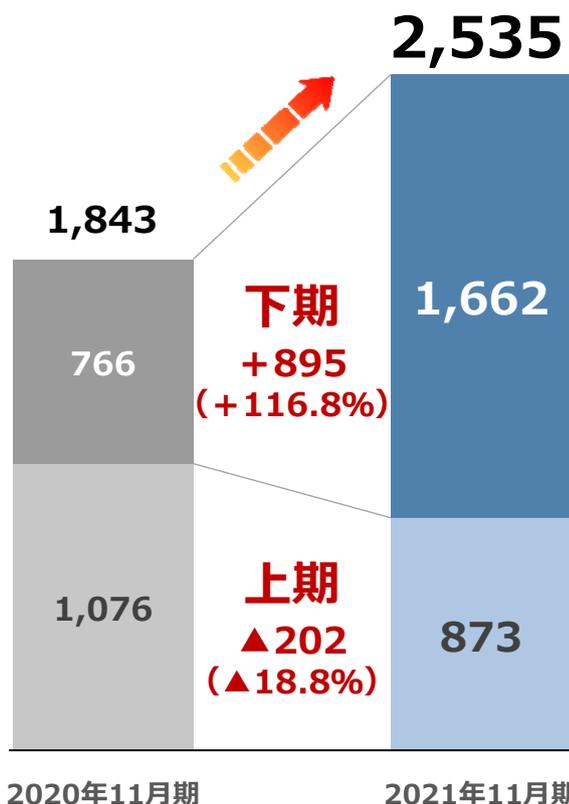
2021年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績のポイント（セグメント利益）

(百万円)



合板事業〈要因〉

前期比 +692 百万円
(+37.6%)

・販売価格の上昇(価格転嫁)

- ✓ 国産、輸入いずれもコストアップより価格転嫁が先行

2020年11月期

2021年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

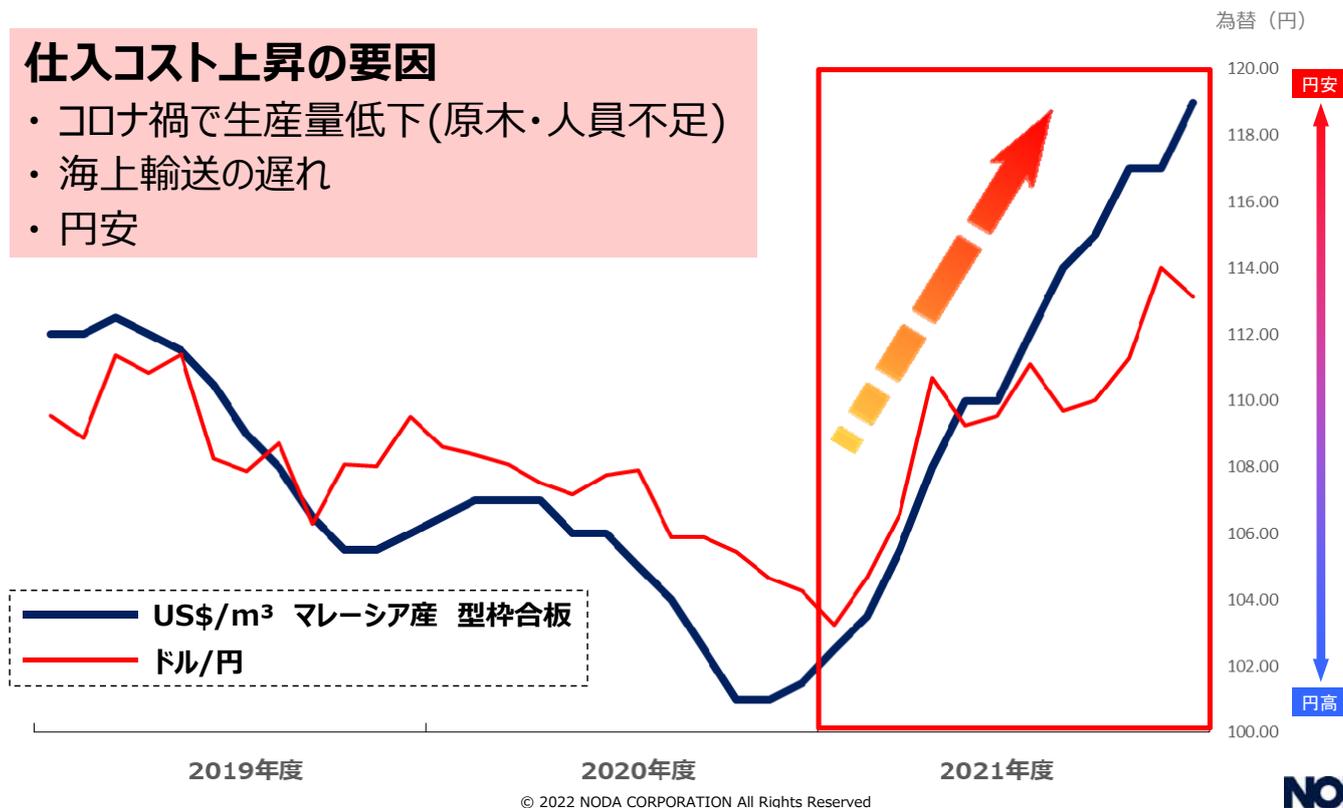
NODA

輸入南洋材合板 仕入コスト推移

産地からの供給が抑制され、仕入コストは急激に上昇

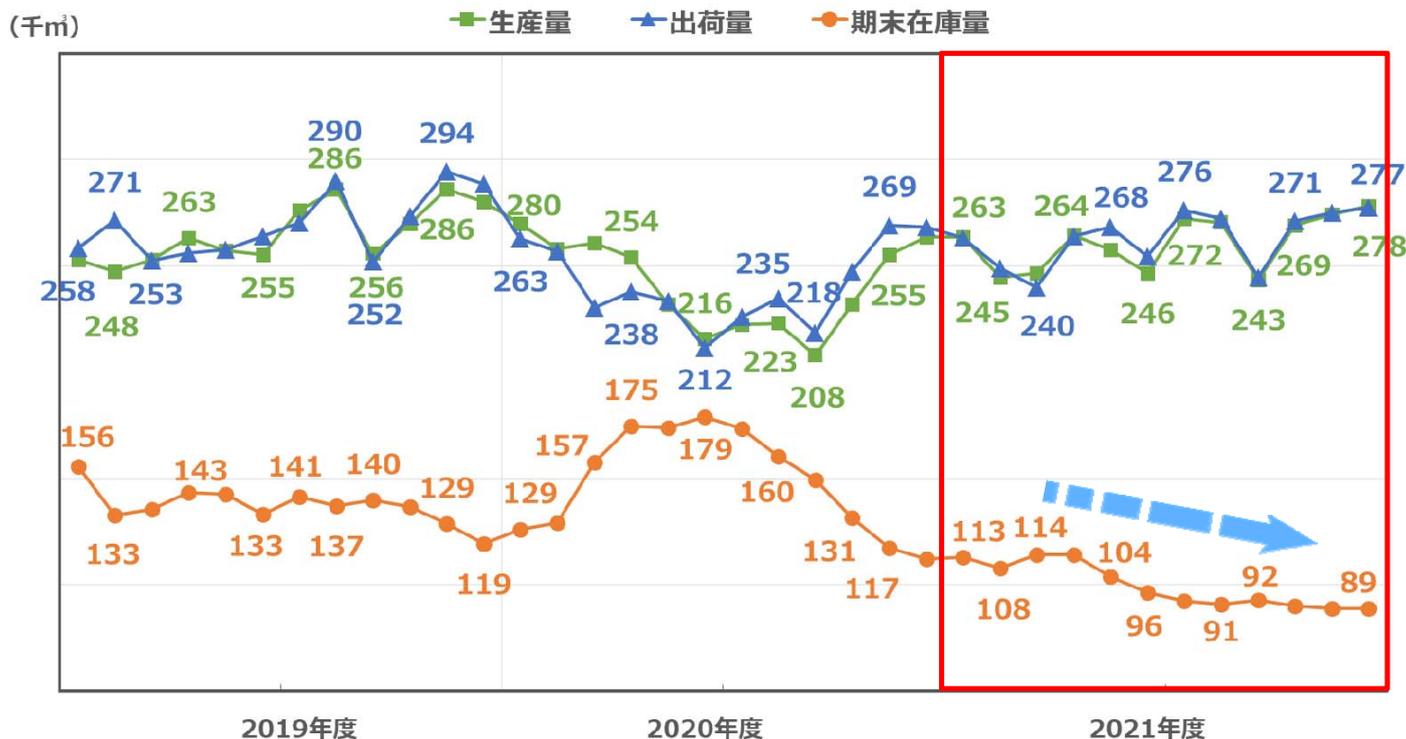
仕入コスト上昇の要因

- ・ コロナ禍で生産量低下(原木・人員不足)
- ・ 海上輸送の遅れ
- ・ 円安

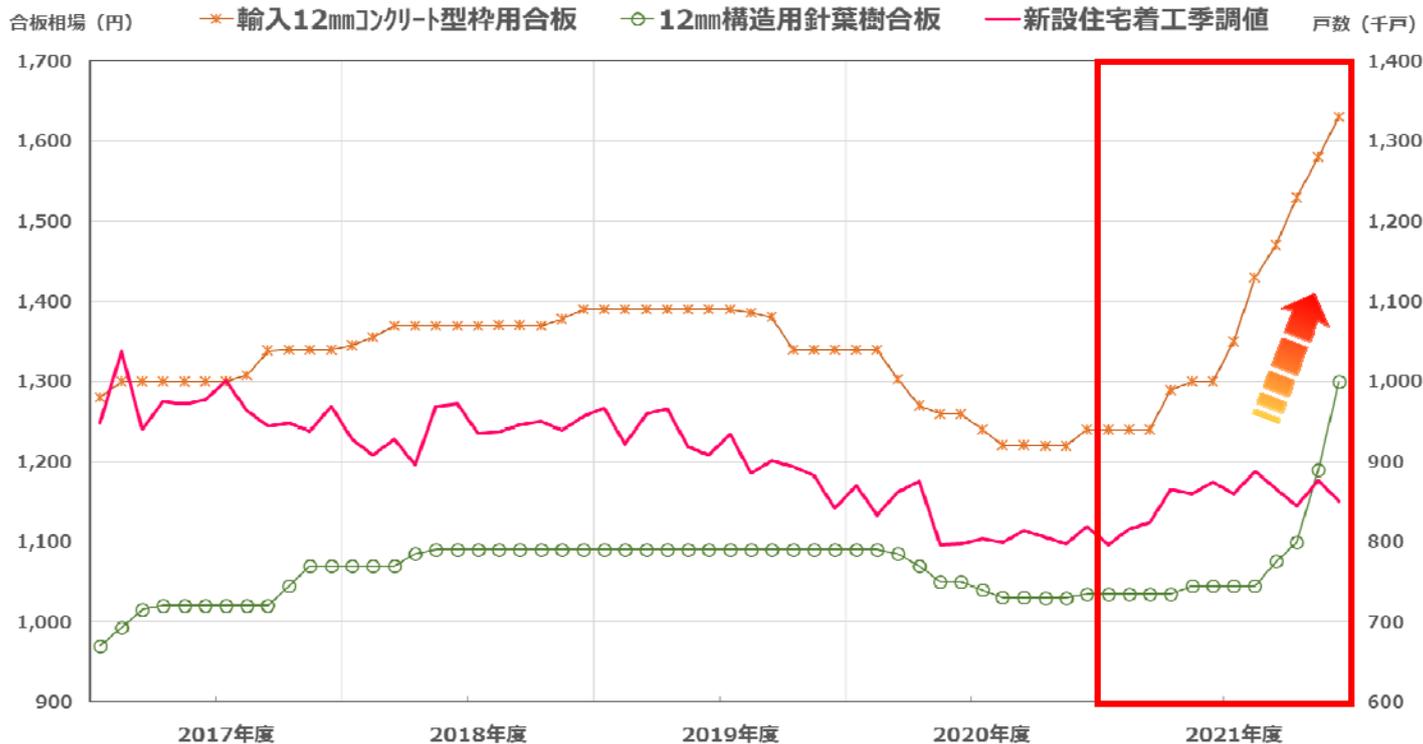


国産針葉樹合板 生産・出荷・在庫 推移

住宅需要の回復により合板需要が高まり、在庫は低水準で推移



需給が逼迫し、合板相場は急激に上昇



資料) 日本経済新聞社「主要相場」、国土交通省「住宅着工統計」

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想

2022年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

前期に引き続き増収増益を見込む

	通期予想	前期比
売上高	70,000 百万円	+5,413 百万円 (+8.4%)
営業利益	4,700 百万円	+870 百万円 (+22.7%)
経常利益	5,000 百万円	+756 百万円 (+17.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,900 百万円	+364 百万円 (+14.4%)

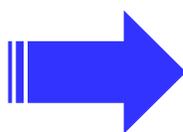
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

2022年度 新設住宅着工予測（12月～11月）

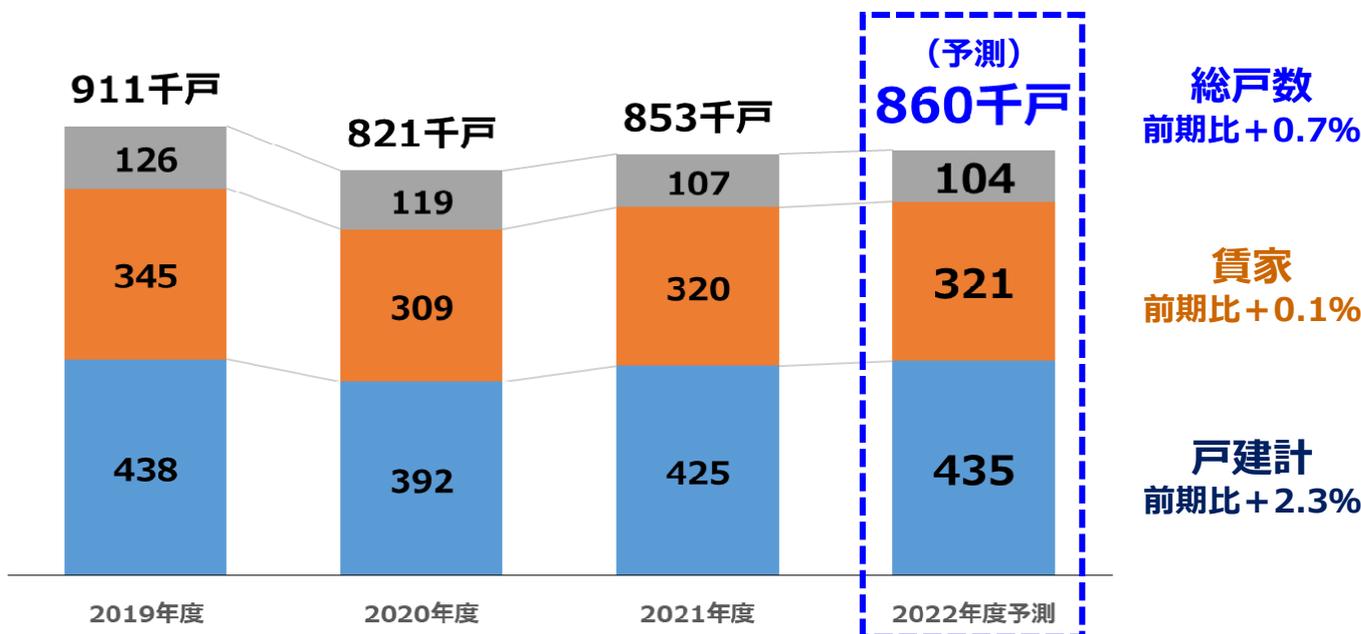
※戸数は単位未満切り捨て

2021年度 住宅着工戸数
853千戸



2022年度 住宅着工戸数
860千戸(予測)
概ね堅調な推移を見込む

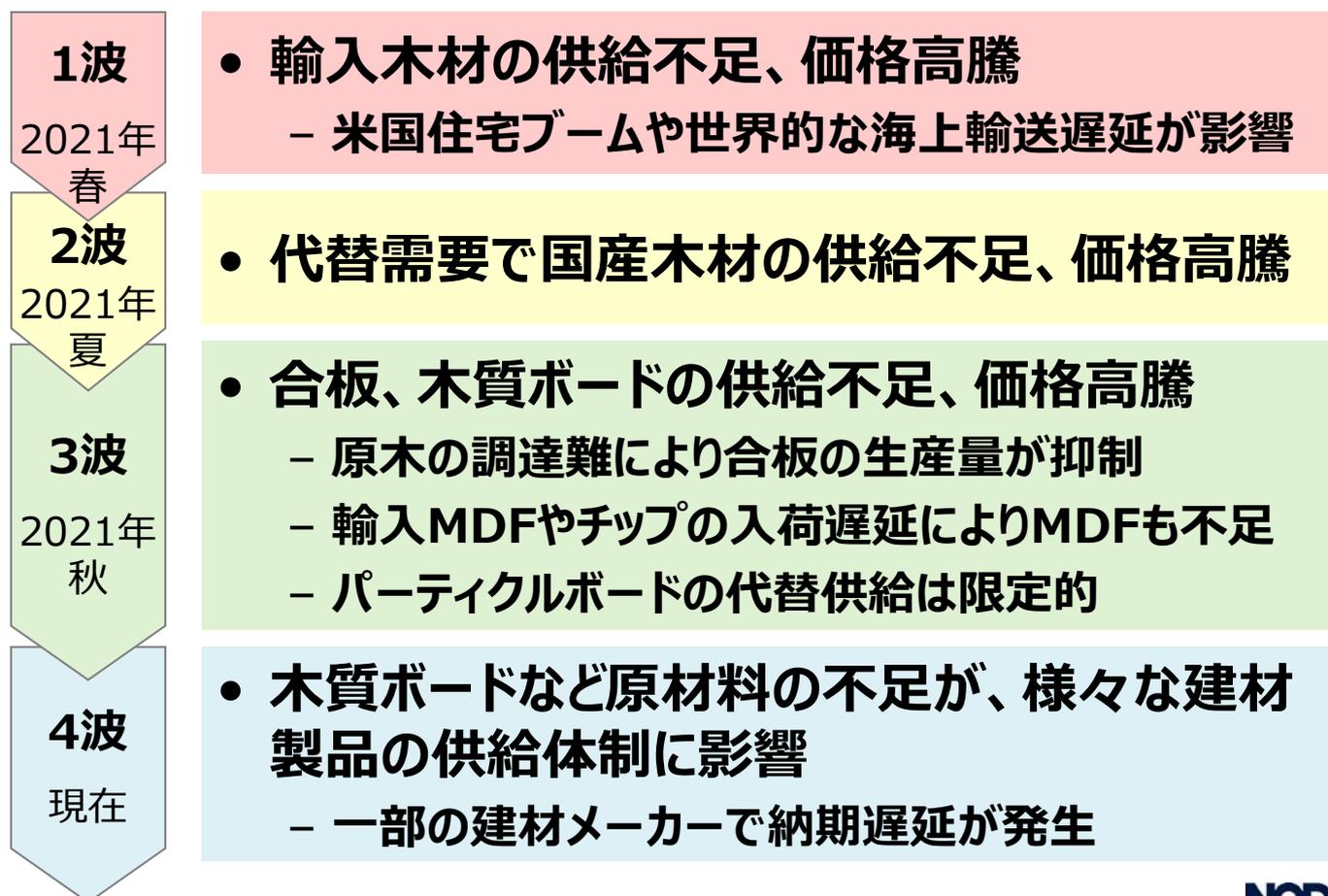
※各年度の期間は、12月～11月の12ヶ月間を示す



資料) 国土交通省「住宅着工戸数」

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

非住宅建築物の木造化促進

「木材利用促進法」が改正され、非住宅や中高層など民間建築物のさらなる木造化促進が期待できる

2010年10月施行 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」



2021年10月施行 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」

- 法律名、目的に「脱炭素社会の実現」を明示
- 木材利用促進の対象を、公共建築物から建築物一般へ拡大
- 戦後に植林され、本格的な利用時期を迎えている森林資源の活用を促進
- 2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を推進

構造面材(合板、HBW)需要の堅調な推移が期待される

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

住宅建材事業

2022年11月期

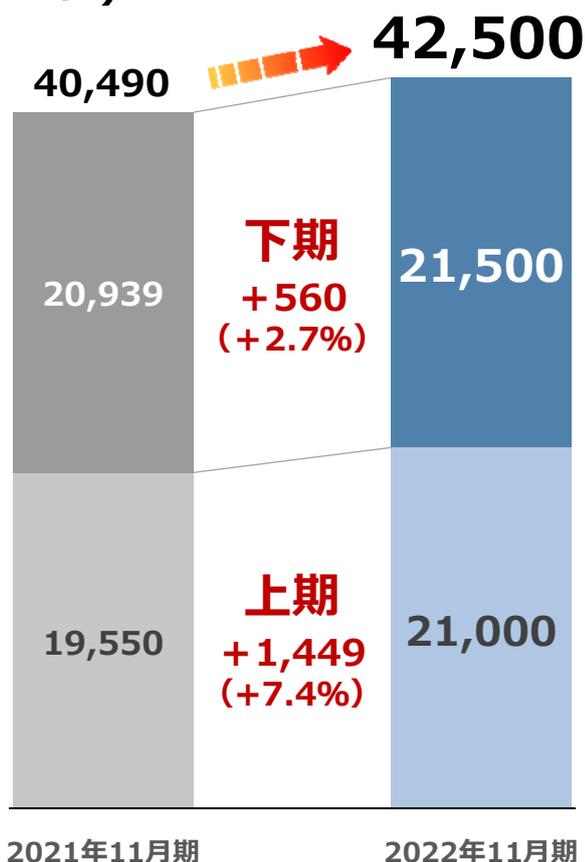
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想のポイント（売上高）

30

(百万円)



住宅建材事業

前期比 +2,009 百万円
(+5.0%)

- 新設住宅着工は引き続き堅調と予想
 - ✓ 上期は住宅ローン減税〆切前に発生した駆け込み需要分の工事が継続
- 同業の建材メーカーの納期遅延が継続(上期)

2021年11月期

2022年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想のポイント（セグメント利益）

31

(百万円)



住宅建材事業

前期比 +61 百万円
(+2.2%)

- ・コストアップに見合った販売価格の改定
- ・原材料を確保し、製品の安定供給に努める
- ・製造コストダウンの更なる推進

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

原材料の調達難、価格高騰への対応

32

社内外の連携を密にし、適切な情報共有と迅速な対応により、引き続き製品の安定供給や収益の確保に努める

原材料の確保、製品の安定供給の継続

- 納入業者との連携強化
- 現地(調達先)の生産状況や海上輸送状況の把握
- 製造現場における感染対策の徹底

コストアップに見合った販売価格の改定

- コストダウン策の徹底(固定費コントロールなど)
- 自助努力ではコストアップを吸収しきれないものについては、価格改定により収益確保

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

<ビジョン2030> 木の心地よさを住まいから様々な空間へ

ビジョン実現に向け、公商空間や中規模木造建築物の市場開拓を推進

環境変化に対する認識

- ・国内人口の減少
→長期的に新築住宅着工戸数は減少の見込み
- ・「木材利用促進法」改正
→非住宅や中高層建築物の木造化促進

当社グループの取り組み

- ・P&C事業部の新設
(2021年12月)
 - ✓ 自社生産素材(MDF・合板)の活用推進
 - ✓ 施工子会社ナフィックスと協業し、材工一貫体制を推進

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

合板事業

2022年11月期

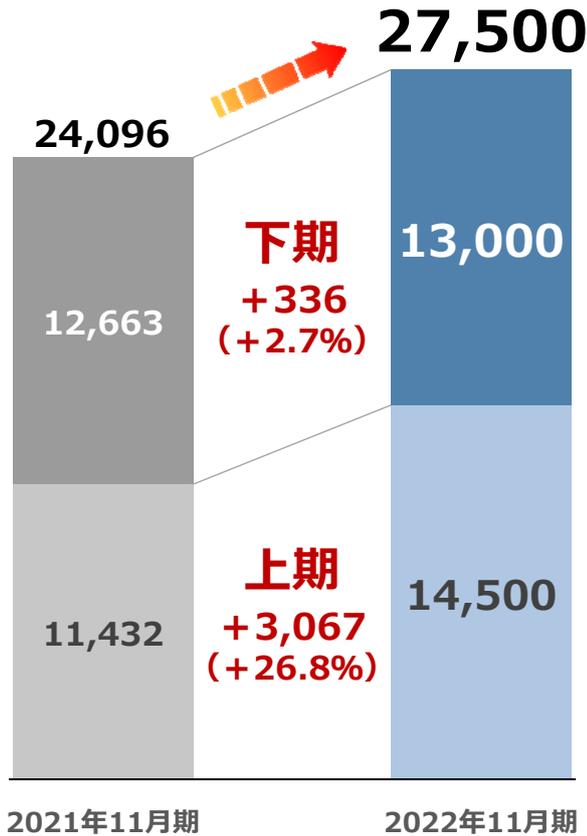
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想のポイント（売上高）

35

(百万円)



合板事業

前期比 +3,403 百万円
(+14.1%)

・国産針葉樹合板、輸入南洋材合板

- ✓ 上期は販売価格上昇継続
- ✓ 下期は軟化傾向を予想

2021年11月期

2022年11月期

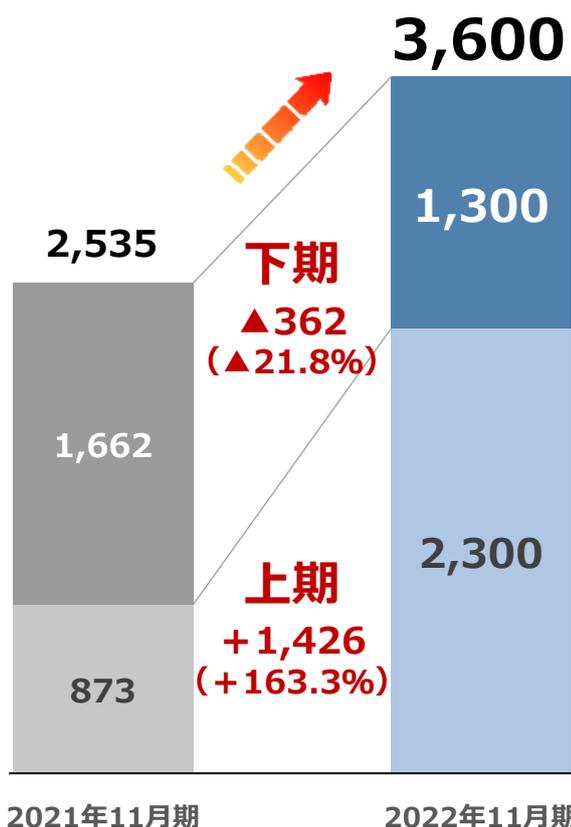
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

連結業績予想のポイント（セグメント利益）

36

(百万円)



合板事業

前期比 +1,064 百万円
(+42.0%)

・国産針葉樹合板、輸入南洋材合板

- ✓ 上期は販売価格上昇継続
- ✓ 下期は軟化傾向を予想

・原木価格高騰が収益を圧迫

2021年11月期

2022年11月期

© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

配当予想、他

2022年11月期

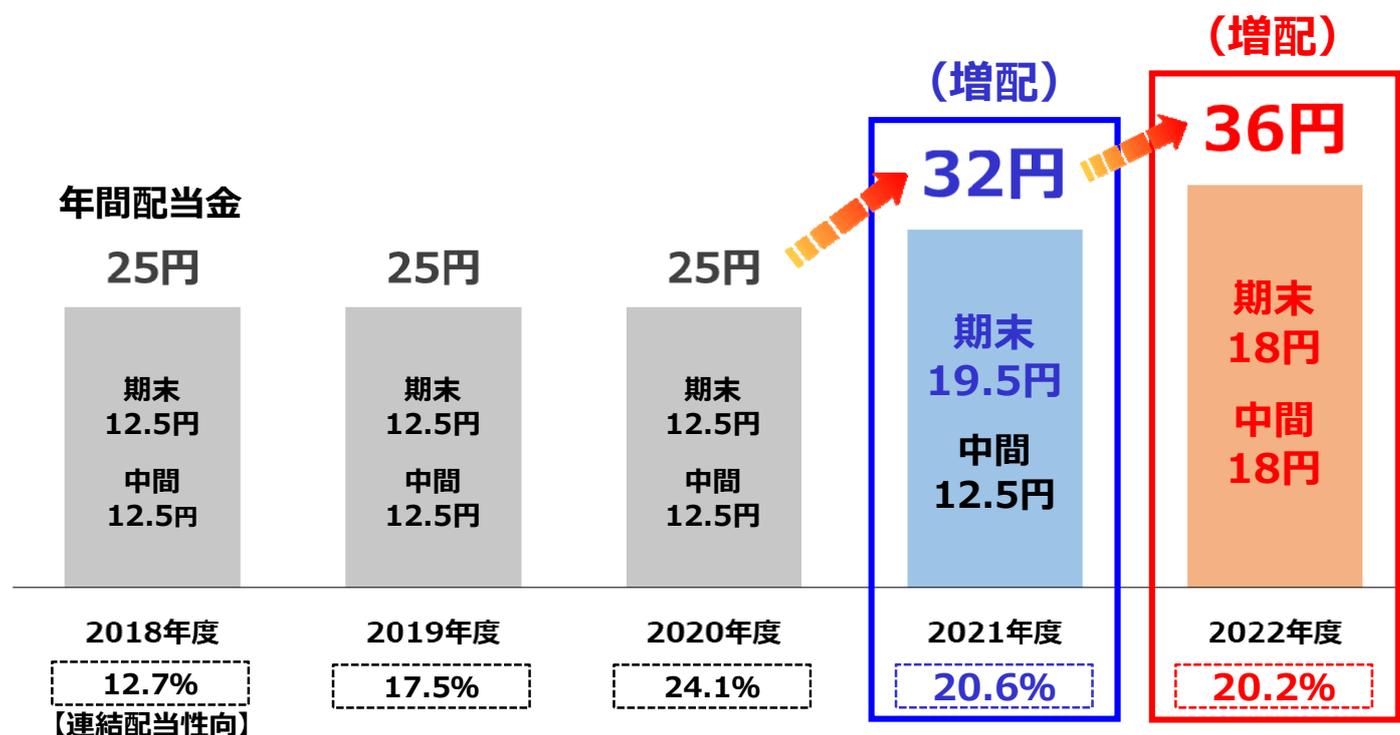
© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

配当金の推移（直近5年間）

38

・増益予想に伴い、2期連続で増配(予想)



© 2022 NODA CORPORATION All Rights Reserved

NODA

【企業理念】主体的に価値創造に挑戦することにより個の成長を促し、さらなる社会貢献を実現できる企業を目指します

Social (剥き芯寄贈)



静岡県「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力

植栽林を潮風や砂から守る木杭材料として、合板の製造過程で発生する芯材(丸太の剥き芯)を寄贈

本取り組みが貢献するSDGsの目標



株式会社ノダは、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



Environment (国産材活用)

健全な森林の整備、CO₂削減に貢献

MDFや合板の原材料として国産材(間伐材・未利用材等)を積極活用



Governance (企業価値向上)

理念・ビジョンの社内浸透

- ・経営トップによる継続発信
- ・ビジョン実現に向け、テーマ別に戦略の立案・推進を実施



NODA



株式会社ノダ
IR情報

<https://www.noda-co.jp/corporate/ir>

ノダ IR

検索



IRに関するお問合せ先 info-ir@noda-co.jp